

02

どんなスピーカーでも
グッドサウンドを生み出せる。
ナチュラルな音だから
音楽ジャンルも選ばない!!

問い合わせ先/
オーディオジャパン
TEL:0299-90-5506
取材協力/
プロショップヴォーグ
TEL:043-209-2135

PHOTO/谷井 功
TEXT/石田 功

DIAMOND AUDIO

D600.4

価格/9万9750円

【主要スペック】

定格出力/90W×4 (4Ω)

周波数特性/20Hz~20kHz

S/N比/90dB

外形寸法 (mm)/434 (W)×221 (D)×57 (H)

重量 (kg)/4.35

さまざまな音楽ジャンルを 素直なサウンドで鳴らす。

ダイヤモンドオーディオのパワーアンプは以前、D1、D3、D6、そして最上級のHEXシリーズと細かく分かれていたが、2010年モデルはDシリーズアンプを統合。D (ダイヤモンド)アンプとHEXアンプという2シリーズのラインナップとなった。その中でも、以前の名残は残っていて、Dシリーズの4chアンプ上級機はD600.4、ベーシックモデルはD300.4という具合に、以前のD6、D3のネーミングが継承されている。ちなみに、今回試聴したのはD600.4で、90W×4の定格出力を持つAB級アンプだ。

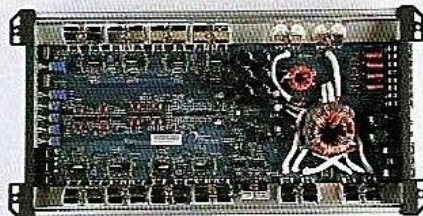
サイズは幅434×奥行221×高さ57mmで、10万円クラスの4chアンプとしては標準的な大きさ。ヒートシンクの凹凸が浅いアルミのボディは、両端に黒の縁取りが付き、スマートに見える。ちなみに、天板センターのロゴは張り付け式だから、インストール後にロゴの向きを好きに変えられる。

内蔵のクロスオーバーはスイッチでオン/ハイパス/ローパスに切り替え可能。クロスオーバー周波数は50~250Hzの範囲で調整でき、カットオフスロープは-12dB/oct。RCAバススルー出力を装備しているので、アンプのデジチェーン接続も可能だ。またバスブーストは、最大12dBまで低域を増強できる。

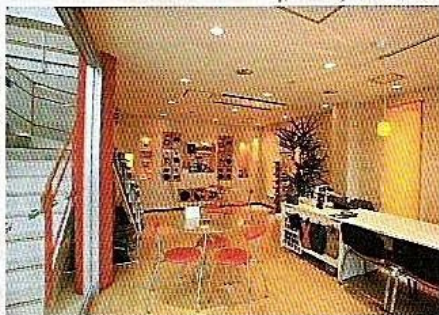
音を聴いてみると、嫌みのない、素直な音というのが第一印象だ。低域側も高域側も再生レンジに不満はなく、解像度も不足のないレベル。とりとめて特徴がない感じの音だが、逆にいうと、どんなスピーカーも選り好みせずに無難に鳴らしてくれそう。また、ジャンルを問わず、どんな音楽でも素直に鳴らしてくれそうなので、さまざまなジャンルの音楽を、さらっと楽しく聴けそうなパワーアンプだ。



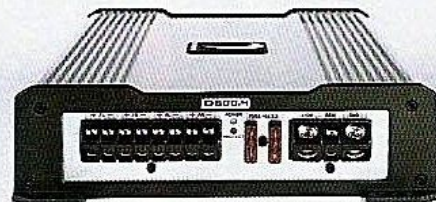
ロゴは張り付け式のため、ロゴの向きを自由に変えることができる。



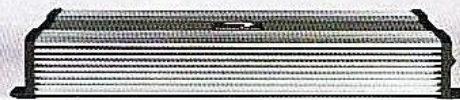
内部の構造がスッキリと整えられており、性能の高さがうかがえる。



干渉音による「プロショップヴォーグ」の音質が、オシャレな店内で、ゆったりと試聴できたり。



端子部分は左右で分けられており、スピーカー入力と電源端子を備えている側と、RCA端子や各調整機能のつまみなどを搭載する側がある。



優れた放熱効果を発揮するアルミ製ヒートシンクを採用。天板とサイドパネルの両方に搭載しているため、放熱能力が高そう。